

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)公開番号
特開2023-37580
(P2023-37580A)

(43)公開日 令和5年3月15日(2023.3.15)

(51)国際特許分類	F I	テーマコード (参考)
A 2 4 B 13/00 (2006.01)	A 2 4 B 13/00	4 B 0 4 3
A 6 1 F 7/00 (2006.01)	A 6 1 F 7/00	3 3 2 4 C 0 9 9
A 6 1 F 7/12 (2006.01)	A 6 1 F 7/12	A
A 2 4 B 15/30 (2006.01)	A 2 4 B 15/30	

審査請求 未請求 請求項の数 15 O L 外国語出願 (全11頁)	
(21)出願番号 特願2022-122500(P2022-122500)	(71)出願人 516004949
(22)出願日 令和4年8月1日(2022.8.1)	ジェイティー インターナショナル エス・エイ.
(31)優先権主張番号 21194803	J T I N T E R N A T I O N A L S .
(32)優先日 令和3年9月3日(2021.9.3)	A .
(33)優先権主張国・地域又は機関 欧州特許庁(EP)	スイス国 1 2 0 2 ジュネーヴ, ルーカゼム ラジャヴィ 8
	8 , r u e K a z e m R a d j a v i
	, 1 2 0 2 G e n e v a , S W I T Z
	E R L A N D
	(74)代理人 100118902
	弁理士 山本 修
	(74)代理人 100106208
	弁理士 宮前 徹
	(74)代理人 100196508
	最終頁に続く

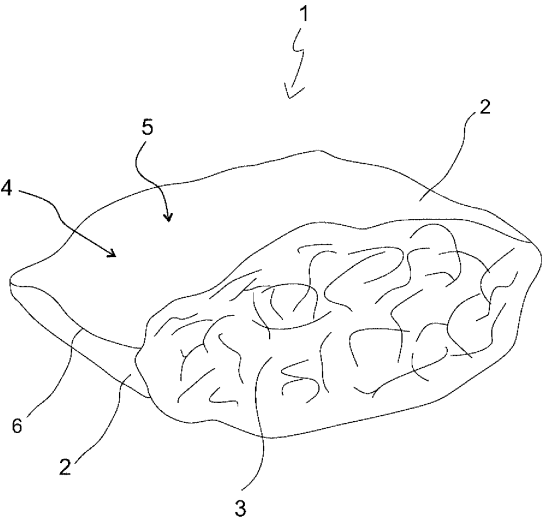
(54)【発明の名称】 ニコチンポーチ用チルドポーチ材料

(57)【要約】

【課題】ニコチンポーチ用チルドポーチ材料を提供する。

【解決手段】ラッピング材料と、ラッピング材料内部に配置されたニコチン含有製品とを含む無煙及び経口での使用のためのニコチン含有物品であって、ラッピング材料がニコチン含有製品を全方面から封入しており、それによって、ポーチの形状のニコチン含有物品が形成され、且つラッピング材料が流体浸透性であり、それによって、好ましくはニコチン含有製品からのニコチンを吸収した流体がそれを通過することが可能である、ニコチン含有物品。本発明によると、ラッピング材料の少なくとも一部は、ニコチン含有物品の使用時に冷却効果を引き起こす、無味及び／又は無臭の冷却剤も含む。

【選択図】図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ラッピング材料（２）と、前記ラッピング材料（２）の内部に配置されたニコチン含有製品（３）とを含む無煙及び経口での使用のためのニコチン含有物品（１）であって、前記ラッピング材料（２）が前記ニコチン含有製品（３）を全方面から封入しており、それによって、ポーチの形状の前記ニコチン含有物品（１）が形成され、且つ前記ラッピング材料（２）が流体浸透性であり、それによって、好ましくは前記ニコチン含有製品（３）からのニコチンを吸収した流体がそれを通過することが可能であり、前記ラッピング材料（２）の少なくとも一部が、前記ニコチン含有物品（１）の使用時に冷却効果を引き起こす、無味及び／又は無臭の冷却剤（５）も含むことを特徴とする、ニコチン含有物品（１）。

10

【請求項 2】

前記冷却剤（５）が、前記ラッピング材料（２）の表面領域上に配置されていることを特徴とする、請求項 1 に記載のニコチン含有物品（１）。

【請求項 3】

前記冷却剤（５）が、前記ラッピング材料（２）の内部に吸収されていることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載のニコチン含有物品（１）。

【請求項 4】

ラッピング材料 1 平方メートルあたりの冷却剤の最大量が、 0.2 g/m^2 より多く、好ましくは 0.3 g/m^2 より多く、より好ましくは 0.4 g/m^2 より多く、そして最も好ましくは 0.5 g/m^2 より多いことを特徴とする、請求項 1～3 のいずれか一項に記載のニコチン含有物品（１）。

20

【請求項 5】

前記冷却剤（５）が、冷却効果を提供する少なくとも 1 つの物質を含むことを特徴とする、請求項 1～4 のいずれか一項に記載のニコチン含有物品（１）。

【請求項 6】

前記冷却剤（５）が、以下の物質：

- ・ WS-5（エチル 3-（p-メンタン-3-カルボキサミド）アセテート）
- ・ WS-12（（1R, 2S, 5R）-N-（4-メトキシフェニル）-p-メンタンカルボキサミド）
- ・ WS-3（N-エチル-p-メンタン-3-カルボキサミド）
- ・ WS-14（N-tert-ブチル-p-メンタン-3-カルボキサミド）
- ・ WS-23（2-イソプロピル-N, 2, 3-トリメチルブチルアミド）

の少なくとも 1 つを含むことを特徴とする、請求項 1～5 のいずれか一項に記載のニコチン含有物品（１）。

30

【請求項 7】

前記ラッピング材料（２）及び／又は前記ニコチン含有製品（３）が、少なくとも 1 つのフレーバー成分を有するフレーバー剤（４）を含むことを特徴とする、請求項 1～6 のいずれか一項に記載のニコチン含有物品（１）。

【請求項 8】

前記冷却剤（５）がニコチンを含み、それによって、前記ニコチン含有製品（３）の効果が強化されることを特徴とする、請求項 1～7 のいずれか一項に記載のニコチン含有物品（１）。

40

【請求項 9】

前記ニコチン含有製品（３）がタバコ製品であることを特徴とする、請求項 1～8 のいずれか一項に記載のニコチン含有物品（１）。

【請求項 10】

前記ニコチン含有製品（３）が、ニコチンを含有し、且つ／又はニコチンが濃縮された繊維であることを特徴とする、請求項 1～9 のいずれか一項に記載のニコチン含有物品（１）。

50

【請求項 1 1】

前記ニコチン含有製品（３）がペースト様の粘稠性を含むことを特徴とする、請求項 1～10 のいずれか一項に記載のニコチン含有物品（１）。

【請求項 1 2】

前記ニコチン含有製品（３）が湿潤粘稠性を含むことを特徴とする、請求項 1～11 のいずれか一項に記載のニコチン含有物品（１）。

【請求項 1 3】

－前記ニコチン含有製品（３）を前記ラッピング材料（２）の内部に少なくとも部分的に配置するステップ；

－前記ラッピング材料（２）でそれを包むことによって、前記ニコチン含有製品（３）を前記ラッピング材料（２）の内部に封入するステップ；

－前記ラッピング材料（２）を密閉し、ポーチを形成するステップを含み、且つ

無味及び／又は無臭の冷却剤（５）が前記ラッピング材料（２）及び／又はポーチに少なくとも部分的に適用されるステップを含む、請求項 1～12 のいずれか一項に記載のニコチン含有物品（１）の製造方法。

【請求項 1 4】

前記冷却剤（５）が、前記ニコチン含有物品（１）の前記製造プロセスの前及び／又は後に前記ラッピング材料（２）に適用されることを特徴とする、請求項 13 に記載のニコチン含有物品（１）の製造方法。

【請求項 1 5】

前記冷却剤（５）が、スプレー、ペインティング及び／又は前記ラッピング材料（２）を前記冷却剤（５）中に浸漬することによって前記ラッピング材料（２）に適用されることを特徴とする、請求項 13 及び 14 のいずれか一項に記載のニコチン含有物品（１）の製造方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

ラッピング材料と、ラッピング材料内部に配置されたニコチン含有製品とを含む無煙及び経口での使用のためのニコチン含有物品であって、ラッピング材料がニコチン含有製品を全方面から封入しており、それによって、ポーチの形状のニコチン含有物品が形成され、且つラッピング材料が流体浸透性であり、それによって、好ましくはニコチン含有製品からのニコチンを吸収した流体がそれを通過することが可能である、ニコチン含有物品。

【背景技術】

【0002】

そのようなニコチン含有製品は、最先端技術から、そして特にスヌース又はニコチンポーチなどの製品として知られている。最先端技術から、種々のフレーバー又はフレーバー混合物中でこれらのニコチン含有製品を提供することができ、フレーバー剤が一般にポーチ内部でニコチン含有製品と混合されていることも知られている。フレーバー剤に加えて、ニコチン含有製品は、製品の消費時に快適な冷却効果のある冷却剤を含有することも知られている。この目的のために最も一般的な冷却剤はメンソールであるが、スペアミント又はペパーミントなどの他の製品も使用される。しかしながら、これらの冷却剤は天然由来であるため、それらの使用は、それらが誘導される最初の植物の汚損を常に伴う。特に冷却剤効果が、例えばペパーミント又はスペアミントの汚損を伴わずに望まれる場合、これは不利になる可能性がある。したがって、冷却効果のみを提供し、いかなる特有の味も有さない冷却剤をニコチン含有物品に適用することが有利である。

【0003】

また、ニコチン含有物品、特にニコチンポーチの材料に関する法的規制もあり、それによって、ニコチン含有製品内で使用可能なフレーバー及び／又は冷却剤の最大濃度は最大閾値に制限されており、したがって、これらの製品のフレーバー強度も制限される。規制

はニコチン含有物品内のフレーバー及び／又は冷却剤の量のみを参照するが、表面上の適用は調節されず、それによって制限されないと仮定する。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

したがって、いかなる特有の味も含まない冷却剤を有するニコチン含有物品であって、ニコチン含有物品内部の冷却剤の法的最大閾値を超えることなく、ニコチン含有物品の冷却効果強度を改善するニコチン含有物品を提供することが本発明の目的である。この目的は、請求項1のニコチン含有物品、及び請求項13のニコチン含有物品の製造方法によって達成される。本発明の好ましい実施形態は、従属請求項の対象である。

10

【課題を解決するための手段】

【0005】

上記課題は、ラッピング材料の少なくとも一部分が無味及び／又は無臭の冷却剤も含み、この冷却剤によってニコチン含有物品の使用時に冷却効果が引き起こされる、本発明によるニコチン含有物品によって解決される。そのため、冷却剤は、好ましくはラッピング材料内部に配置され、そして非常に好ましくはポーチを構築するラッパー材料の外側表面上に配置される。そのため、好ましくは、冷却剤はニコチン含有製品と一緒にポーチの内部に配置されない。そのため、ニコチン含有物品上に適用される冷却剤の量、それによる冷却効果を有意により高くすることが可能であるが、それらはまだ法的規制を満たしていると考えられる。

20

【図面の簡単な説明】

【0006】

【図1】ポーチの形態のニコチン含有物品

【図2】ポーチの形態のニコチン含有物品の断面図

【発明を実施するための形態】

【0007】

好ましくは、冷却剤は化学プロセスによって得られ、それによって、消費時に消費者に汚損を導く可能性のある、いかなる副産物も含有しない。好ましくは、冷却剤は、スペアミント、ペパーミントなどからのいかなる有機誘導体も含有せず、それによって、単なる冷却効果以外のいかなる味の影響も有さない。そのために、それぞれの冷却剤の消費時に、消費者は、他のいずれかのフレーバーの味を感じたり、又はにおいを感じたりすることもなく、得られた冷却効果のみを感じる。

30

【0008】

好ましくは、ニコチン含有物品の消費時に消費者に風味経験並びに冷却効果を同時に生じさせるために、冷却剤を種々の他のフレーバー剤と混合することが可能である。消費者のためのニコチン効果を同時に含むために、冷却剤をニコチンと混合することも可能である。

【0009】

好ましい実施形態において、冷却剤はラッピング材料の表面領域上に配置される。したがって、それがラッピング材料の表面の少なくとも一部分を被覆するように冷却剤を配置することができる。冷却剤がラッピング材料の全表面領域上に適用されることが考えられる。好ましくは、そのために、冷却剤は、ニコチン含有製品を内部に有するポーチの全表面上に配置される。

40

【0010】

冷却剤をラッピング材料の両側面上に配置することも可能であり、そのような実施形態においては、ラッパー材料の内部表面上に配置される冷却剤は、ポーチ内部に配置される。

【0011】

好ましくは、冷却剤は、ラッピング材料上で分離された層として配置される。このような分離された層は、好ましくは、ラッパー材料に取り付けられ、それによって、ラッパー

50

材料と冷却剤との複合シートが得られる。好ましくは、その後、それぞれの複合シートを使用して、ニコチン含有物品を封入するためのポーチを作成する。

【0012】

好ましい実施形態において、冷却剤は、ラッピング材料内に吸収される。この目的のために、ラッピング材料は、好ましくは、冷却剤を吸収することができるように多孔性構造を含む。好ましくは、ラッピング材料は、適用された冷却剤を多孔性構造中に吸収する。それにより、冷却剤は、好ましくは、ラッピング紙の多孔性材料内部に少なくとも部分的に配置される。

【0013】

好ましくは、ポーチの形態で仕上げられたニコチン含有物品に冷却剤を適用する。そのために、冷却剤を適用する前に、ラッピング材料からポーチを形成する。

10

【0014】

ラッピング材料が多孔性構造を含み、消費者の唾液がそれを通過することができ、それによって、ラッピング材料に結合したニコチン、冷却剤及び／又はフレーバー剤が唾液に放出されることが考えられる。

【0015】

好ましくは、ラッピング材料は、セルロースから製造される多孔性材料である。そのため、ラッピング材料は、多孔性紙及び必要条件を満たす種々の材料からも製造可能である。

【0016】

好ましい実施形態において、ラッピング材料1平方メートルあたりの冷却剤の最大量は、 0.2 g/m^2 より多く、好ましくは 0.3 g/m^2 より多く、より好ましくは 0.4 g/m^2 より多く、そして最も好ましくは 0.5 g/m^2 より多い。

20

【0017】

好ましい実施形態において、冷却剤は、冷却効果を提供する少なくとも1つの物質を含む。冷却剤は、冷却効果を有する種々の物質から、又は冷却効果を有する少なくとも1つの成分と混合されることも可能である。好ましくは、冷却効果を有する使用される物質は、冷却効果に加えて、冷却剤の味に影響するであろう、いかなる追加的な味も含まない。特に物質は、好ましくは、メンソール、スペアミント又はペパーミントの味を有さない。

【0018】

好ましくは、物質は、皮膚領域及び／又は粘膜上で刺激を引き起こすことなく、消費者によって消費されることが可能である。メンソール、スペアミント又はペパーミントなどの一般的な天然の冷却剤は、眼及び鼻の粘膜との接触時に刺激があることが知られているが、使用される冷却剤は、好ましくは、いかなる刺激も引き起こさない。

30

【0019】

好ましくは、冷却効果は、口の少なくともいくつかの部分で冷却又は涼感効果を引き起こす。この効果は、好ましくは、口蓋、舌、のど及び／又は唇に現れる。複数又は全ての領域上に効果が出現可能であると考えられる。

【0020】

好ましくは、冷却効果を有する物質は、Wilkinson Sword Cooling Compoundである。これらのWilkinson Sword Cooling Compoundは、最先端技術からWS冷却剤としても知られており、それによって、全て特定の番号がつけられた種々の異なるWS冷却剤が存在する。好ましくは、冷却剤の相違点は、それらの冷却強度、並びに口腔内のそれらの効果の領域、及び消費後にそれぞれの効果が継続する期間の長さである。

40

【0021】

好ましい実施形態において、冷却剤は、以下の物質の少なくとも1つを含む。

- ・WS-5（エチル3-（p-メンタン-3-カルボキサミド）アセテート）
- ・WS-12（（1R, 2S, 5R）-N-（4-メトキシフェニル）-p-メンタンカルボキサミド）

50

- ・WS-3 (N-エチル-p-メンタン-3-カルボキサミド)
- ・WS-14 (N-tert-ブチル-p-メンタン-3-カルボキサミド)
- ・WS-23 (2-イソプロピル-N, 2, 3-トリメチルブチルアミド)

【0022】

上記で列挙された物質のそれぞれが、それ自体冷却効果を有する物質であり、そのため、好ましくは冷却剤用を使用することができる。好ましくは、これらの物質を、単独で、又は互いに組み合わせて使用することができる。

【0023】

冷却剤という用語は、一般に、列挙された物質の少なくとも1つを指すために使用されることは理解される。

【0024】

好ましくは、ニコチン含有物品上の冷却剤として、WS-5及び／又はWS-12が使用される。好ましくは、これらの冷却剤は、他の物質と比較して最大冷却効果を含む。そのため、メンソールと比較して、WS-5の冷却効果の強度は好ましくは400%であり、そしてWS-12の冷却効果の強度は好ましくは350%である。

【0025】

また、WS-12の冷却効果は、好ましくは、他の冷却剤の冷却効果の長さの少なくとも2倍の長さ、そして非常に好ましくは3倍の長さで継続する。

【0026】

好ましい実施形態において、ラッピング材料及び／又はニコチン含有製品は、少なくとも1つのフレーバー成分を有するフレーバー剤を含む。複数のフレーバー成分が複数の冷却剤と混合可能であることも考えられる。例えば、得られるフレーバーがイチゴアイスであることが可能である。

【0027】

フレーバー剤は、種々の異なる味、例えばイチゴ、レモン、チョコレート、コーラ、ブラックカラントなどを含むことができる。好ましくは、フレーバー剤は、最先端技術から知られている、いかなる人工又は天然フレーバーであることも可能である。冷却効果を得るためにフレーバー剤を混合することが可能であり、そのフレーバーを「アイス」効果として記載することができる。

【0028】

好ましくは、フレーバー剤を、冷却剤と同様に、ニコチン含有物品上及び／又は内部に配置することができる。好ましくは、フレーバー剤及び冷却剤は、ニコチン含有物品への適用前に混合される。

【0029】

好ましい実施形態において、冷却剤はニコチンを含み、そのため、ポーチ内部からのニコチン含有製品の効果を強化する。ニコチン含有物品への適用前に、ニコチンをフレーバー及び／又は冷却剤と混合することができることが考えられる。ニコチンが固体状態（粉末、粒状体）で適用されて、冷却及び／又はフレーバー剤と混合されることが考えられる。さらに、ニコチンが冷却及び／又はフレーバー剤中に溶解可能となることがあり得る。そのため、複合物質は、粉末の形態、又は流体の形態のいずれであることも可能である。

【0030】

好ましい実施形態において、ニコチン含有製品は、タバコ製品である。冷却剤を含まないそれぞれのニコチン含有物品は、そのため、好ましくは既知の「スヌース」である。冷却剤は、最先端技術から知られているスヌース製品上へも適用可能である。そのため、スヌース製品では、好ましくは冷却効果が強化される。そのため、冷却剤は、好ましくは、スヌース製品のラッピング材料上へ適用される。

【0031】

好ましくは、ニコチン含有製品内部のタバコ製品はニコチンを本来含み、タバコ製品は粉末及び／又は繊維の形態を含み、好ましくは、天然のタバコ植物から抽出される。

【0032】

10

20

30

40

50

好ましい実施形態において、ニコチン含有製品は、ニコチンを含有し、且つ／又はニコチンが濃縮された繊維である。好ましくは、この繊維は、食品安全性の有機及び／又は合成繊維である。好ましくは、繊維は無味及び／又は無臭である。繊維がいかなるタバコ製品も含有しないことが考えられる。

【0033】

この材料は、好ましくは、ニコチン、冷却及び／又はフレーバー剤が添加される原材料である。したがって、繊維は、好ましくは、ニコチン、冷却及び／又はフレーバー剤及び／又はニコチンを吸収し、使用時に消費者にそれを放出するキャリア材料として作用する。したがって、繊維材料が高い吸収性を含むことが考えられる。

【0034】

ラッパー材料によって封入されたニコチン含有物品のポーチ内部に繊維が配置されることが考えられる。好ましくは、ラッパー材料及び繊維材料それ自体は、消費者の唾液との接触時に不溶性である。ラッパー材料及び／又は繊維に適用されたニコチン、冷却及び／又はフレーバー剤が、消費時に消費者の唾液に可溶性であることが考えられる。好ましくは、ニコチン含有物品の消費後、ラッパー材料及び繊維は、廃棄物として残存する。

【0035】

好ましい実施形態において、ニコチン含有製品は、ペースト様粘稠性を含む。したがって、ニコチン含有製品は、好ましくは、非常に小さい粒子及び／又は粉末粒子からなり、これは流体物質と混合されて、ペーストになる。

【0036】

タバコを含まないニコチン含有物品中で使用される繊維は粉末形態を含み、それにより、流体物質の添加時にペーストになると考えられる。好ましくは、この流体物質は、流体粘稠性を有する溶解ニコチン及び／又はフレーバー剤である。この流体物質が流体粘稠性を有する冷却剤及び／又は他のバインダー材料であることも考えられる。

【0037】

特にタバコを有するスヌース製品がペースト様粘稠性を含み、好ましくは、ポーチ内部のニコチン含有製品がタバコ繊維及び／又は粒子を含み、これは流体粘稠性のニコチン及び／又はフレーバー剤の添加時にペーストになると考えられる。この流体物質が冷却剤及び／又は他のバインダー材料であることも考えられる。

【0038】

好ましくは、ニコチン含有物品は、ニコチン含有製品としてタバコ粒子を含み、タバコ粒子は湿潤及びペースト様粘稠性を本来含む。

【0039】

ペースト様粘稠性を有するニコチン含有製品は、好ましくは、ラッパー材料内部に配置され、それによって、ニコチン含有物品のポーチ中に配置される。ペースト様粘稠性は、好ましくは、ラッパー材料を浸漬するために十分な流体を含まない。

【0040】

好ましい実施形態において、ニコチン含有製品は、湿潤粘稠性を含む。好ましくは、湿潤ニコチン含有製品は、冷却剤、ニコチン及び／又はフレーバー剤などのその活性物質を消費者の唾液により迅速に送達することができる。これは、好ましくは、乾燥粒子よりも、すでに湿潤した物質とのほうが、唾液がより迅速に混合することができるため生じる。

【0041】

本発明の目的は、以下のステップ：

- ・ニコチン含有製品をラッピング材料内に少なくとも部分的に配置すること；
 - ・ラッピング材料でそれを包むことによって、ニコチン含有製品をラッピング材料内に封入すること；
 - ・ラッピング材料を密閉し、ポーチを形成すること
- を含む、ニコチン含有物品の製造方法によっても到達される。

【0042】

本発明によると、本方法は、無味及び／又は無臭の冷却剤がラッパー材料及び／又はポ

10

20

30

40

50

ーチに少なくとも部分的に適用されるステップをさらに含む。

【0043】

冷却剤のみがラッピング材料に適用されるのではなく、ニコチン及び／又はフレーバー剤も適用されることが考えられる。好ましくは、ラッピング材料上に適用される全ての成分は、適用前に混合される。そのため、ニコチン含有物品の消費時に、消費者は、冷却効果を経験するのみならず、直接的な味覚及び／又はニコチンラッシュ（*nicotine rush*）も経験する。好ましくは、ニコチン含有物品も、冷却剤、フレーバー剤及び／又はニコチンをその内部に含み、そのため、消費時に消費者にそれらの製品が放出する。

【0044】

好ましい実施形態において、冷却剤は、ニコチン含有物品の製造プロセスより前、及び／又はその後にラッピング材料に適用される。好ましくは、冷却剤はポーチの製造後に適用され、これによって、製造プロセス間にバッグを密閉することがより容易になる。好ましくは、ラッピング材料は、接着剤を用いて、及び／又はラッパー材料の穿孔処理によって密閉される。ラッパー材料の接触領域は、それらの間に物質が配置されないで一緒により良好に接着する。

10

【0045】

好ましい実施形態において、冷却剤は、スプレー、ペインティング及び／又はラッピング材料を冷却剤中に浸漬することによってラッピング材料に適用される。

【0046】

冷却剤は、好ましくは、物品、特にポーチが製造された後、ニコチン含有物品上にスプレーされる。そのため、冷却剤は、好ましくはポーチの外側上、そのため、好ましくはラッパー材料上にスプレーされる。

20

【0047】

ラッパー材料を冷却剤中に浸漬すること、及び／又はローラーを用いて、ラッパー材料上に冷却剤を適用することによって、ラッパー材料を冷却剤でコーティングすることができると考えられる。

【0048】

好ましくは、冷却剤のみならず、フレーバー剤及び／又はニコチンもまた、ラッピング材料にそれらをスプレー、ペインティング及び／又は浸漬することによってラッピング材料に適用することができる。好ましくは、ニコチン含有物品が製造され、ポーチの形態を含む後にも、これらは適用される。

30

【0049】

本発明によるさらなる利点及び実施形態は、添付の図面中に例示される。

【0050】

本明細書中、

図1 ポーチの形態のニコチン含有物品

図2 ポーチの形態のニコチン含有物品の断面図

を示す。

【0051】

図1は、ポーチの形態のニコチン含有物品1を例示した。ポーチは、特定の方向に配置された材料2を包むことによって形成される。図1中、ポーチはクッションの形態を含む。しかしながら、ポーチが、ニコチン含有製品3を封入するために適切である他のいずれの三次元形も含むことが可能であると考えられる。したがって、立方形、球形、円柱形、又は四面体などの形状が特に好ましい。

40

【0052】

好ましくは、ポーチは、消費者によって唇の後側に配置されるように、平面及び四角形を含む。消費者の唾液に洗浄され、そしてその冷却剤、フレーバー剤及び／又はニコチンを唾液及び粘膜中に放出しながらも、ポーチはこの位置に残留する。しばらくしたら、消費者は、ポーチの形態の使用済みのニコチン含有物品1を口から出し、それを処理する。

【0053】

50

したがって、好ましくは、ポーチは少なくとも部分的に中空である。したがって、ポーチは、好ましくは、ポーチが密閉される前に、ニコチン含有製品 3 をニコチン含有物品 1 内部に配置する様式で製造される。

【0054】

ニコチン含有物品 1 を製造するためのラッピング材料 2 は、平面シートとして提供され、その後、曲げられて、ポーチが作成される位置に配置されと考えられる。

【0055】

ニコチン含有物品 1 を製造した後、冷却剤 5 及びフレーバー剤 4 は、好ましくは、ラッピング材料 2 上にポーチの外側表面で配置される。したがって、冷却剤 5 及び／又はフレーバー剤 4 はラッピング材料 2 層の間の接着力を低下させるため、冷却剤 5 及び／又はフレーバー剤 4 は、好ましくは、ポーチが密閉される前にラッピング材料 2 の接合点 6 上にそれらを適用することによって生じる可能性があるポーチの製造に影響を及ぼさない。

【0056】

好ましくは、ラッピング材料 2 は、適用された冷却剤 5 及びフレーバー剤 4 を吸収し、そしてさらに、消費者の唾液がそれを通してするようにさせる、少なくとも部分的に多孔性の形態を含む。好ましくは、ラッピング材料 2 を通過することによって、唾液がポーチ内部のニコチン含有製品 3 と接触し、それによって、ニコチン及び／又はフレーバーなどの活性物質をそれから吸収することができる。

【0057】

図 2 は、ニコチン含有物品 1 の断面図を例示しており、それによって、ポーチが中央で半分にされるように例示される。この図中、ニコチン含有物品 1 内部のニコチン含有製品 3 を見ることができる。

【0058】

ニコチン含有物品 1 内部のニコチン含有製品 3 は細長い繊維として例示されているが、ニコチン含有製品 3 の粒子は、粉末形態、ペースト形態、球形粒子、立方形粒子、四面体形粒子若しくは種々の他の三次元形状の粒子又は粘稠性などの他の形態も含むことが可能である。

【0059】

好ましくは、ニコチン含有製品 3 は、タバコ含有物質又はタバコを含まない繊維材料である。

【0060】

図 2 は、ニコチン含有製品 3 がラッピング材料 2 の 2 つの層の間に配置され、層はラッピング材料 6 の接合部で互いに連結していることをさらに例示した。図 2 のニコチン含有物品 1 の形状次第で、ポーチは、4 つの線形外側端部の少なくとも 3 つにおいて、ラッピング材料 6 の接合領域を含む。好ましくは、ポーチが互いの上部に配置されたラッピング材料 2 の 2 つの層から製造される場合、ポーチは 4 つの接合領域 6 を含む。好ましくは、ラッピング材料 2 の 1 つの層を半分に折り畳み、それにより、1 つの接合領域 6 が折り畳まれた端部によって置き換えられる場合、ポーチは 3 つの接合領域 6 を含む。

【0061】

好ましくは、少なくとも 1 つの線形外側端部を有する全ての幾何学的実体は、それぞれのラッピング材料を折り畳むことによって、それぞれの接合領域 6 の代わりに、1 つの折り畳まれた端部を含むことができる。

【0062】

ラッピング材料の 2 つの層は、接合領域 6 において、一緒に接着されるか、又は一緒に定着するように機械的に処理される。好ましくは、ラッピング材料 2 の層は、コーヒーフィルターと同様に、穿孔処理時に互いに固定される。したがって、2 つの層は、好ましくは、互いの上部に配置され、接合領域 6 で一緒にパンチされる。

【0063】

好ましくは、冷却剤 5 及び／又はフレーバー剤 4 は、ポーチの密閉後に、ニコチン含有物品 1 に適用される。好ましくは、冷却剤 5 及び／又はフレーバー剤 4 は、消費時に消費

10

20

30

40

50

者の唾液に最初に接触するラッピング材料 2 の外側側面上に配置される。

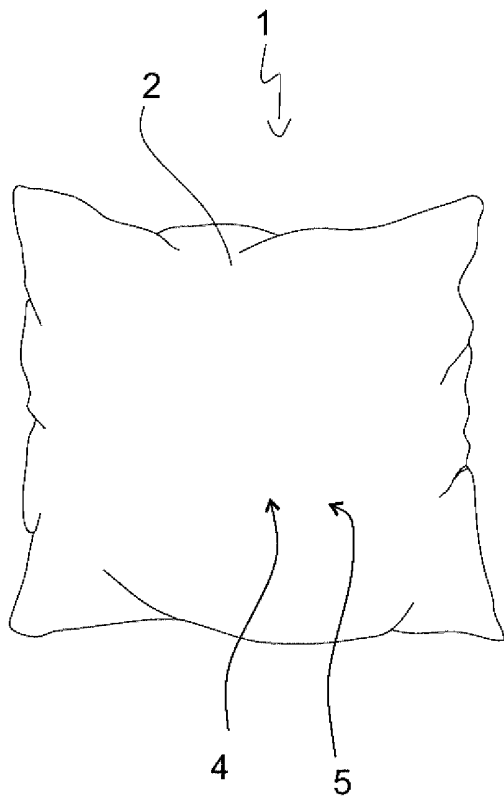
【符号の説明】

【 0 0 6 4 】

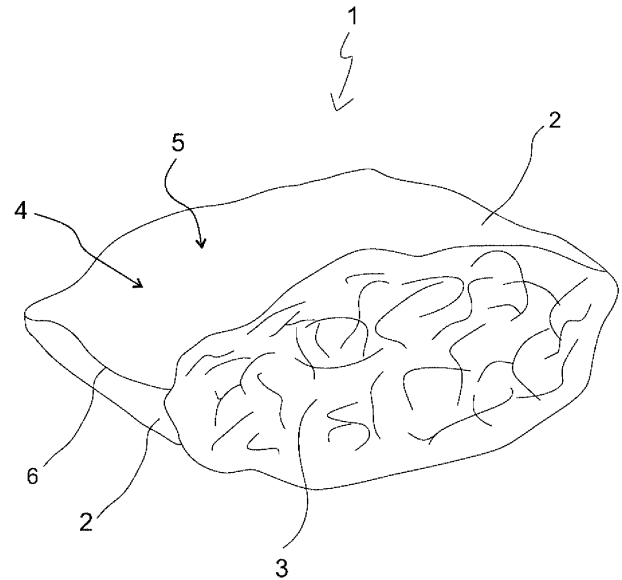
- 1 ニコチン含有物品
- 2 ラッピング材料
- 3 ニコチン含有製品
- 4 フレーバー剤
- 5 冷却剤
- 6 ラッピング材料の接合部

【図面】

【図 1】



【図 2】



10

20

30

【外国語明細書】

2023037580000004.pdf

40

50

フロントページの続き

弁理士 松尾 淳一
(74)代理人 100186613
弁理士 渡邊 誠
(74)代理人 100202854
弁理士 森本 卓行
(72)発明者 アレクサンドル・コンタレフ
ドイツ国 5 4 2 9 4 トリール, ビルヘルムードイザーシュトラッセ 1 9
Fターム(参考) 4B043 BC02 BC14
4C099 AA02 CA14 EA05 GA30 HA09 LA07 LA30